

# 福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子  
令和4年12月23日 第10号

甘楽町立福島小学校  
校長 中島 剛

## ○皆様のご支援に感謝を込めて ～今年一年、大変お世話になりました～

西の空に見える浅間山はすっぽりと雪に覆われ、寒さ厳しい本格的な冬の到来を迎えました。今年も残り少なくなりましたが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

2学期を振り返ると、コロナ禍でしたが、子どもたちは学びを止めることなく、充実した学校生活を送ることができました。1つひとつの行事を経験することで、身も心も成長したように思います。また、今年一年、大きな怪我も事故もなく、無事に終えられたことを大変嬉しく思います。ご支援、ご協力をありがとうございました。

さて、本日の終業式で私は、冬休みは体調管理には十分に気をつけることと、1年の目標を立てることを話しました。「1年の計は元旦にあり」といいます。親子で1年の目標を話し合っ

て立てて、その達成に向けてお子さんを励ましてほしいと思います。新型コロナの感染拡大は、まだ気の抜けない状態が続いています。年末年始も予防対策をしっかりとして、家族で楽しい冬休みをお過ごしください。

1月10日の3学期始業式で、子どもたち全員の元気な姿に会えるのを楽しみにしています。

## ○甘楽町いじめ防止子ども会議 ～誰もが住みやすく、いじめのない町を目指して～

いじめ防止子ども会議が甘楽中学校の体育館で開催されました。甘楽町4校の生徒会・児童会本部役員が一堂に会し、いじめ防止について意見を交換しました。本校からは児童会本部役員の6年生4名・5年生3名が参加しました。

今年度のテーマは「表に出せない相手の気持ちを理解し、自分の行動を考えることでお互いを大切にしよう関係をつくるために、私たちにできること」でした。

前半は、各校のいじめ防止の取組の発表がありました。本校からは、年間を通した活動として、縦割り班での清掃や遊び、児童会本部の活動として挨拶運動について説明しました。また、なかよし旬間での活動として「なかよし集会・読み聞かせ・話し合い」について説明しました。前半の発表は、各学校の4年生以上の教室をオンラインで結んで配信しました。

後半は、4校の児童・生徒が交ざって4つの班になり、「見えにくい・気づかれにくい『いじめ』を防ぐにはどうしたらよいか」について話し合いました。各班ごとに、中学生が中心となって話し合いをまとめ、SNS上でのいじめや生活場面での陰口に対しての解決策を発表しました。



## ○書き初め教室 ～気持ちを落ち着かせ、集中しました～

甘楽町にお住まいの鈴木先生を講師にお迎えして、書き初めの練習を行いました。鈴木先生は、筆の手入れの仕方や半紙の裏表、書く時の姿勢や筆の打ち込み（止め、はね、払い）などを実演を交えてわかりやすく説明され、一人ひとりの作品に丁寧に朱を入れて指導してくださいました。3年生は「友だち」、4年生は「美しい空」、5年生は「世界の国」、6年生は「伝統を守る」に挑戦しました。

今回学んだことを冬休みに復習して、来年1月の書き初め大会に備えてほしいと思います。

